

## 第7回宮城県東日本大震災アーカイブス連絡会議 1月10日（金）

アンドルー ゴードン先生のお話

JD アーカイブスのお話、-システムとコンテンツについての紹介-

当初からアーカイブの立役者、日本を熟視し、現在の東日本大震災関係のアーカイブの形があるのも先生のお陰です。

Jdarchive [www.jdarchive.org](http://www.jdarchive.org)

連絡型のアーカイブであり、今後様々な団体と連携を結んでいきたい（連携を作る）。

オープンソースなので、この仕組みを多くのユーザーや団体にも使用してほしい。

**検索：**キーワードを検索にかけて、地図上でも見る事が出来る。

（4, 6万単位の画像を地図で見る事は珍しい。リフレッシュが早い）

詳細な検索が可能。

使う人と作る人の区別をなくす→参加型アーカイブへ向けて

**コレクション**（選んだ素材を集約したもの）ログインが必要

誰でも登録する事によってコレクションをつくることができる（個人、グループでも登録可能）

様々な団体がコレクションした素材をみる事が出来る。

アーカイブ外のリンクもコレクションに入れる事が出来る（Bookmarklet 経由ダウンロード必要）

コレクションとアーカイブに登録することができる、アーカイブにはスタッフ経由で、認証を受けてから、アーカイブ入りする。

コレクション内は整理されてはいなく、登録されたリンクから順々にかさなっていくだけなので、今後の課題である。

コレクション内の資料をプレゼン用に作成することのできるツールも備えている（公開は春予定）。

柴山

整理環境について-コレクションはブックマークの様なもの。他に無い機能。

プレゼン、編集機能掲載。このシステムのすばらしい所。Internet アーカイブに毎月溜まったリンクをアーカイブしてもらおう。(JD アーカイブは仲介役のみ)

連携可能性はあるのか？

メディアテークさん

著作権問題を懸念

20世紀アーカイブスさん

連携は難しい、個人情報などの扱い、既に頂いたデータはその先を見越して預かってはいないので、難しい。

みちのく震録伝さん

全ての素材はクリアしたもののみ連携している。

リンク先の公開の問題、一部で了解されても、ハーバードでリンクされて公開されたらダメ。。などの問題。。

コレクションという機能は難しいので、まだ問題を解決する必要がある。

第三者の手によって、違う意味を持たせてしまう。

ネット上に公開するかしないかが問題。。学習の分野では使える、編集しながら。利活用の問題。誰が、何の為に。。。

写真データの管理。(テキストと写真共にリンクされれば良いのかも？写真だけが飛び回るだけではなく。。)

観光 PR への影響、全面公開は良いのか？実際に足を運んでほしい。

県図書館さん

ニュースレターの収集。提供者が感じる県、市の捉え方の違い。

Yahoo の画像協定書は当初からクリアされていたので連携はスムーズだった。上智大学 自ら聞き取りを行いアーカイブを立ち上げた。登録制でアクセス可。

などの意見が出ました。

ゴードン先生お疲れさまでした。 1/10 議事録より